

テスト設計コンテスト'23 OPEN クラス アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チーム ID

S240528001

チーム名

1 1 ヒポポタマス

チーム紹介

テスト設計コンテストのために、社内の有志が部署の垣根を超えて発足したチームです。

「11ヒポポタマス」というチーム名は、弊社執行役員 CTSO 高橋寿一をリスペクトし、「寿一」という名前から取った「11」と、「カバレッジ」を意識するという意味合いを込めて、カバ(動物)の英名「ヒポポタマス」を掛け合わせて誕生しました。メンバー4名のうち3名がテスト設計コンテスト初参加となり、チームとしての参加という意味では初めての挑戦です！今回は力試しの意を込めての参加となりますので、新しいテスト技術への挑戦というよりは、我々が持つ既存のテストスキルがどこまで通用するのかに重きを置いたテスト設計に取り組みました。


コンセプト

<前提>

・「顧客側がだんだん動物園入場システムテスト依頼書等(テストベース)からテスト設計を要求している」という状況を想定してテスト設計を行っています。

・今回、サブシステム単独での品質が保証済みのため、サブシステム間連携に関して懸念が残ることから、シナリオテストを用いてサブシステム同士の相互作用を一連の流れとして検証しています。

<ヒポポイント> ※ヒポポイント…チーム「11ヒポポタマス」としての「ポイント」

 1 異なる経験やスキルから来る強みや弱みをメンバー間で **カバー** し合って、作業を進める！

 2 **カバレッジ** を意識し、テストを抜け漏れなく網羅できるように、マトリクスを大いに活用！

工夫点

・テスト設計コンテストはメンバーのほとんどが初参加となるため、メンバーがこれまでの現場で培ってきた持ち味をさらにブラッシュアップすることに注力しました。具体的には参加経験者がファシリテーターの役割を担ってメンバーが主体的に参加し、協力して目標を達成できるように方向性を示してきました。

・各成果物の品質を確かなものにしていくため、①:WBS を用いてテストプロセスごとに計画を立てて役割分担を行い、②: 週次でのブレインストーミング実施で仕様やテスト分析に対する認識齟齬を無くし、③ドキュメント間の構成管理、用語の統一、識別番号の割り当てについて定義し、トレーサビリティを確実に確保することで、価値の最大化を図りました。

・テスト設計を行うにあたって抽出された「機能(画面)一覧」、「観点(ユースケース)一覧」、「シナリオ一覧」の各要素に対して、「機能×シナリオマトリクス」、「観点×シナリオマトリクス」、「パラメーター一覧」というかたちでマトリクス化および詳細化することで、カバレッジを意識し、テストを抜け漏れなく網羅できるようにしました。